第3部

1967年~1984年

視点は世界 際企業を目指す



1981年 1977年 1983年 1982年

椿本エンジニアリング・オブ・アメリカ(現TCA)設立占部友一が5代目社長に就任 兵庫工場竣工

1967年

桥本共栄鋳工(現椿本鋳工)設立

山中一郎社長死去。大村利一が3代目社長に就任

1970年

1969年

米国に椿本USA(現UST)設立 台湾に大椿鏈條股份有限公司(現TTC)

1972年

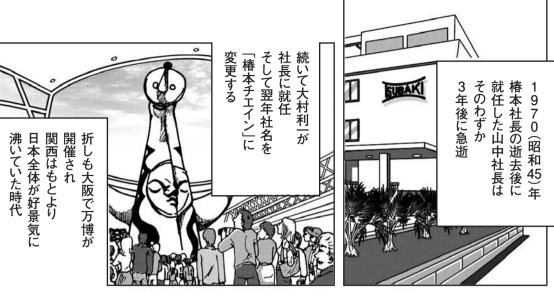
当時、国内では先進的な制度であった完全週休2日

末吉好一が4代目社長に就任 イラン郵政省より郵便総合自動処理システム受注

1975年

ばらものコンベヤ部門を分離し、株式会社椿本バルク

1984年





そんな中、椿本チエインの

こうして京都工場は、

海外事業の一大拠点として 精機事業を拡大する一方で、 椿本USAが設立される 1971(昭和46)年



次々と海外拠点が誕生

の実績があったが、

戦前にはある程度輸出

途絶えてしまった

からな…

でそれも

UST

歴史をひもといてみると・ ここで椿本チエインの海外事業の

> アメリカからローラチェーンの 年のチェーン輸出に始まり 海外進出は、1931(昭和6) 1951(昭和26)年には、 大量注文があった



椿本社長であった ここが正念場かも)れませんね…

そして

専務山中|郎が

調査に当たったのである

直接アメリカに飛び立ち、

戦中戦後の10年間 受注があったが、 台湾からの製糖用チェーンの の受注、1932(昭和7)年の ローラチェーンやコンベヤチェーン 戦前の海外実績として1931 この頃には途絶えていた (昭和6)年の朝鮮満州からの 専務·山中一郎 (後の2代目社長)

> いいかも 行って 山中君 視察に行った方が チェーンの市場 やはり直接アメリカへ くれるか アメリカへ しれません お任せください! はい社長

そのアメリカへ日本からチェーンを 世界一、いわばチェーンの本場の国。 アメリカといえばチェーン関しては 輸出するのは不安も多いことだった





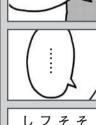
あります ひとつ問題が しかし







成功するものだ





その方が直接 フォローも しやすいですし そうですね 開拓していく 自分たちの手で 販路は商社経由にせず しかないな コストダウンのためにも 35



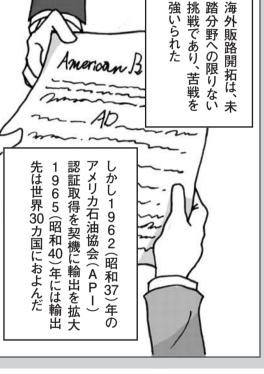
「当社の繁栄は

"輝かしい販路開拓の実績は 最良の品質と最適な価格

とによって生まれる_













ディストリビュータ

OEM

輸入品に対する壁が厚く、 品揃えとサービスが必要

まとまった量は期待できるが、 価格の要求が厳しい

での地位が低かった 商品は、米国市場 設立当時、つばき んですよね



ディストリビューターとの信頼

ああ、当時のUSTは

スタートしたUSTも、

設立当初は4人で

を抱えるまでに成長した 現在は従業員約750人

たとか・・・・



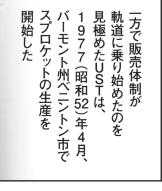
チェーンを主にした それまでの小形ローラ 1974(昭和49)年

北米における 現地生産活動である 最初の本格的な

販売を始めた 精密特形チェーンの アタッチメント付や 要求される

よりエンジニアリングの

販売から、











ですか?

ばかりではないぞ

だが順調だった











これを皮切りに海外

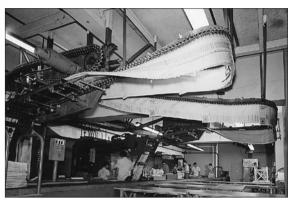
現地生産の拡大が図られた











1966年

■ マテハン事業の発展

東京オリンピックを契機として、新聞製作現場での 高効率・スピードアップ化を求められ、新鋭装置を 各社へ納入した(写真は毎日新聞に納入した、輪 転機から発送まで新聞を搬送するダベリオ・ニュー スベヤ)。

1971年

■京都工場の建設

精機商品をパワートランスミッションの柱として育てるため、京都府長岡町(現長岡京市)に約6万平方メートルの敷地を入手し、京都工場を建設した(写真は1期工事の終了した京都工場)。



UST, III

1971年

■ 米国に初拠点(UST)作る

米国、シカゴ郊外のノースブルックで営業を開始した椿本USA(現UST)。当初は出向者も含め4人でのスタートだったが、現在では当社最大の海外関連会社となった(写真は米国、USTの全景)。

1984年

無 兵庫工場に クリーン工場増設

兵庫県加西市に建設された兵庫工場内には、エレクトロニクス時代に対応するため、クリーン工場を増設。弱電メーカー向けのFA関連施設を担当し、当社の最先端技術を誇る製品が生み出された(写真は操業中のクリーン工場)。

